

文学散歩のご案内 (約2時間)
●塩原文学研究会の会員による文学碑や景観の案内

10/23日・11/6日・11/13日・11/20日
午前10時 がま石園地集合

参加希望者は塩原温泉観光協会までご予約ください
〈お問い合わせ専用窓口〉TEL 0287-32-4000

予約制
無料

文学碑巡り

島崎藤村文学碑

昭和14年10月4日に塩原を訪れています。前期は浪漫的な詩、『千曲川旅情の歌』『初恋』『若菜集』などを書きましたが、明治35年頃から小説の方に進み、自然主義文学の作品を次々と発表しました。この碑文は作品として書いたものではなく、何かの時に生かそうと思ったくらいのもので、『雑記帳』という小さな手帳にスケッチと共に書かれていたものです。雑記帳にはこの碑文の前に前年、昭和13年の箒川氾濫のことも書かれています。

塩原溪谷を彩るなだらかな散歩道
大正浪漫街道散策
「文学碑」巡りと主な「滝」

電化の滝
風拳の滝
与謝野晶子文学碑
白雲洞跡
布滝
五色岩
P
WC
塩原溪谷歩道
やしおコース
箒川ダム
潜竜峡
大網
九回滝
猿岩の滝
冷々の滝
連珠の滝
仙髯の滝
幸田露伴文学碑
展望台
回顧の滝
回顧の吊橋
お地蔵様等の石仏
尾崎紅葉文学碑
塩原温泉
臨時P B
バス停
回顧橋
臨時P C
もみじ谷大吊橋

与謝野晶子文学碑

明治33年東京新詩社の創設とともに入会し、そこで知り合った与謝野鉄幹と熱烈な恋に落ち、結婚ののちもその深い愛情は終生続きました。代表的な作品には歌集「みだれ髪」「舞姫」「春泥集」などがあり、その情熱と優れた感性によって、近代日本の女流歌壇に大きな足跡を残しました。与謝野鉄幹、晶子夫妻は昭和9年5月に塩原温泉の地を訪れ、その折にこの「竜化の滝」に遊んでいます。

竜化の滝

竜化の滝は「塩原十名瀑」の一つです。「塩原十名瀑」の中で最長130mの滝は幅約5m、高さ60mで三段に分かれて流れ落ち、流れは岩盤を天に向かって力強く登っていく白竜の姿に似ており、自然の美しさと迫力で十名瀑随一の素晴らしさを誇っています。

田山花袋文学碑

当時栃木県であった館林市の生れで、藤村の「破戒」と共に、自然主義文学の代表作である「布団」や、「田舎教師」を書いた作家として有名です。また、日本中の温泉地を訪ね、多くの紀行文を残しています。その中の「日光と塩原」という紀行文の一節を表したものがこの文学碑です。花袋が最初に塩原に来たのは明治33年で後に民俗学者となった親友の柳田国男と一緒にしました。

斎藤茂吉文学碑

明治41年10月16日から2泊3日で東京帝国大学医科の親睦旅行として友人3名と塩原を訪れました。塩原の見事な紅葉の中で100首の歌を詠み、翌年の『阿羅々木』に「塩原ゆき」50首を発表しました。さらに、44首に整理したものを「塩原」として、第一歌集『赤光』に発表しました。塩原には、4基の歌碑が建っていますが、この碑は、令和2年度末に建立された、最も新しい碑で、『山路わだ紅葉はふかく山たかく いよよりわがまなかひに』と書かれています。

徳富蘆花文学碑

明治30年10月に塩原を訪れ、秋の紅葉、箒川の渓谷美を「自然と人生」に著していますが、この碑文も、同旅行で書かれた『青蘆集』の中の一節です。「八汐咲く春美しく 月白く風青き夏の塩原 住むに妙なれども観るべきは秋に候 宮女の襟の如くに重なりし山又山 黄に紅に染まりて…盡く錦に入るは此時に候」と秋の美しさを表しています。

幸田露伴文学碑

幸田露伴は、尾崎紅葉と「紅露時代」を築き、塩原へは五度訪れています。碑文は、「楢山の茂みの中に白雲のたもとほるごとさける山桑」という歌で、満寿家所蔵の直筆の色紙から取ったものです。

仙髯の滝

浪漫街道本道に静かに流れ落ちる繊細な滝であり、仙髯とは、仙人の髯の意味です。道路から滝の下へは2~3mで、容易に下りられる。水に親しんだり、滝を背にしてあたかも滝に打たれているかの如き写真を撮ったりして楽しむこともできます。

回顧の滝

塩原十名瀑の一つであり、奥蘭田の『塩溪紀勝』に「回顧橋に抵る…水声の瀟沛たるを聞く。而して回顧すれども滝を見ず…下橋を回顧すれば即ち瀑布橋底に瀉ぐ。直下三十余丈恰も水晶の簾を垂るゝか如く…回顧して始めて瀑を見るの義に取れるなり。」とあります。回顧の吊橋を渡ると、観瀑台から約60mの名瀑を見ることができます。

立松和平文学碑

昭和22年、宇都宮生れの立松和平は、子供の頃から何度も塩原を訪れていました。温泉は、新緑、紅葉、箒川の等に心を癒やされた和平は、塩原を愛し、親しんでいたのです。亡くなる8か月前に書き下ろした長編小説が「人生のいちばん美しい場所で」です。正に美しい場所塩原温泉を舞台にした物語で、最後の傑作といわれています。この場面は福渡の岩の湯での情景なのですが、塩原の一番美しいこの場所に建てるのが最もふさわしいと考え、令和4年この地に建立しました。

尾崎紅葉文学碑

俣を駆りて白羽坂を踰えてより、回顧橋に三十尺の飛瀑を踏み、山中の景は始て奇なり。これより行きて道有れば、水有り、水有れば、必ず橋有り、全溪にして三十橋、山有れば巖有り、巖有れば必ず瀑有り、全嶺にして七十瀑。地有れば泉有り、泉有れば必ず熱有り、全村にして四十五湯。猶数ふれば十二勝、十六名所、七不思議、誰か一々探り得べき。

(尾崎紅葉『金色夜叉』より)
塩原温泉の魅力を教えてくれる一節でもあります。

野点
11/3日 ~ 11/13日 開催

大正浪漫街道
(回顧旧道)

がま石園地
文学散歩集合場所

塩原温泉

塩原温泉観光協会

塩原温泉観光協会